

業種別部会シンポジウム

電気電子部会



2011年8月23日
ブラジル日本商工会議所
電気電子部会



部会長シンポジウム・発表要旨

- ① 本年の市場の推移と展望
- ② 家電流通の動きと懸念
- ③ 製造事業環境の変化と展望

部会参加企業の2011年上期の回顧

【市況・外部要因】

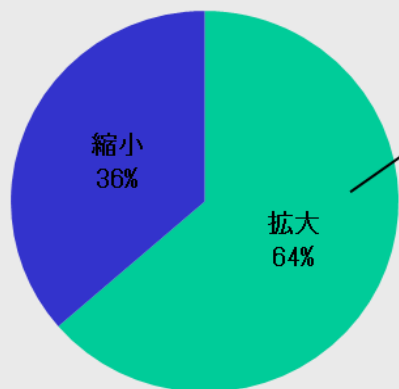
- **インフレ対策** (=高金利政策・クレジット抑制策)が需要の伸びを制限した。
- **震災影響**による生産・販売減。一部の輸入部品不足が売上へ影響した。
- 去年のPonto Frio/Casas Bahia、本年のRicardo Eletro/Insinuante/Eletroshopping等のM&Aと**流通の寡占化**

【売上実績と評価】

- 好業績を残せた企業は、プラス要因として「**一般消費が好調。営業活動の強化、Solution Businessへの参入、他社との協業等**」を挙げている。
- 業績が低迷した企業は、マイナス要因として「**固定費の上昇、震災影響による生産・販売減、競合他社との価格競争、新政権の経済運営の影響、市場の減速、販売スタッフの不足等**」を挙げている。

販売実績

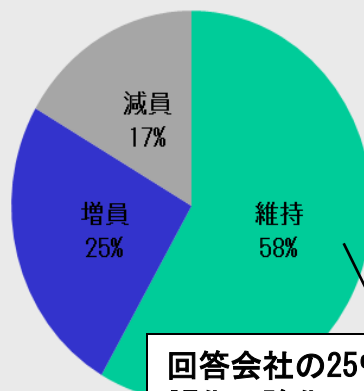
2010年上期比



2011年上期の回顧ではアンケート回答社の64%が売上拡大を達成。

人員の変化

2010年上期比

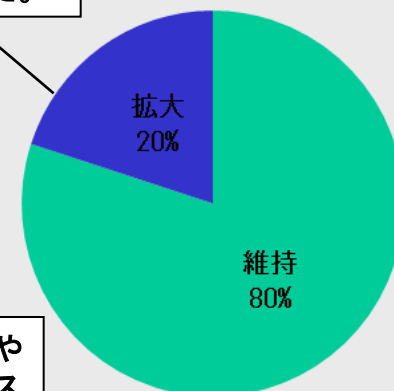


回答会社の25%が専門営業員やIT化の強化、商品スペシャリストと管理スタッフ等を増員

回答会社の20%は2010年上期拡大投資を実施した。

拡大投資

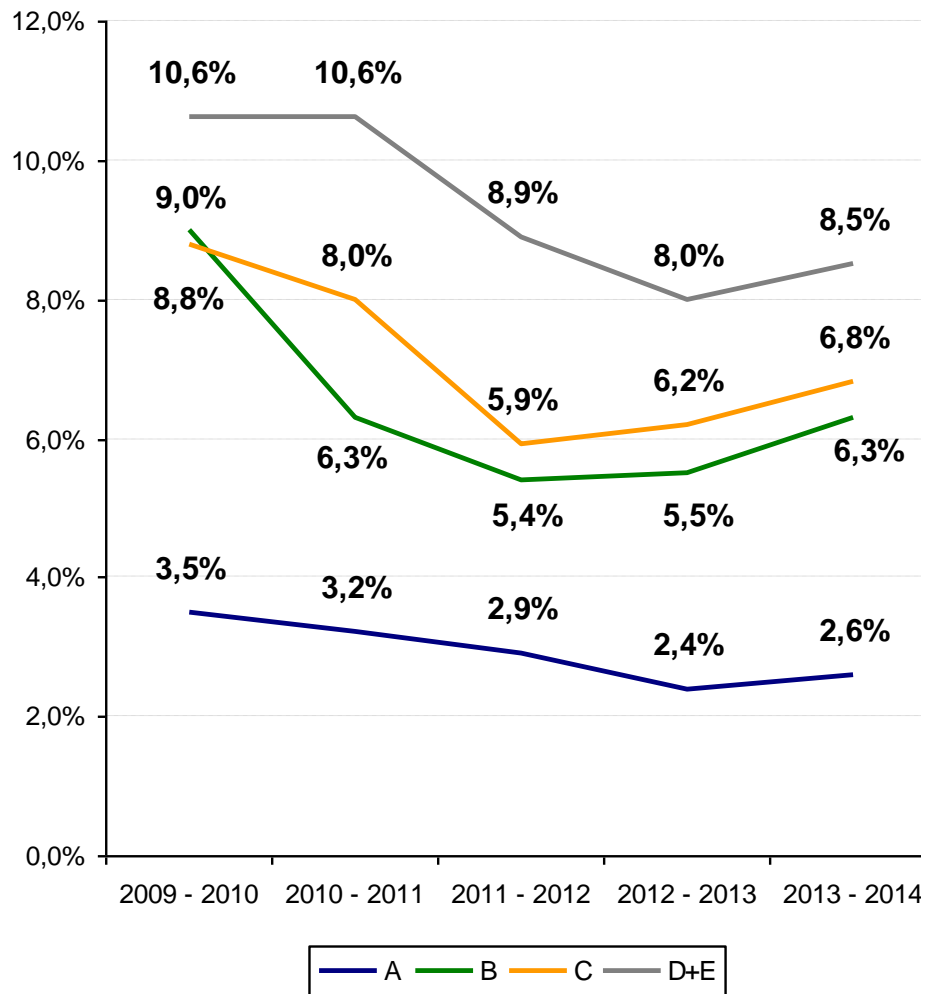
2010年上期比



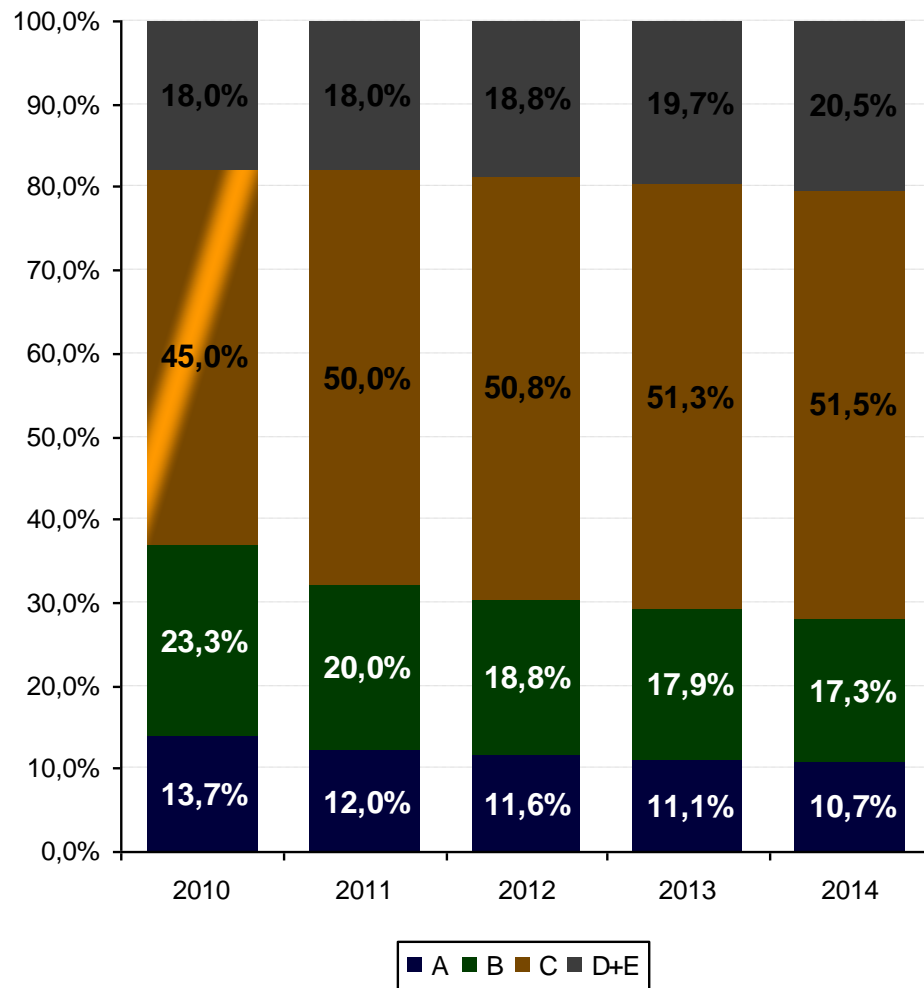


家電製品の消費を牽引するC-クラス

所得階層別・年間世帯収入の伸び率



AVIT家電市場に占める所得階層別消費



Source: IBGE/ Tendências

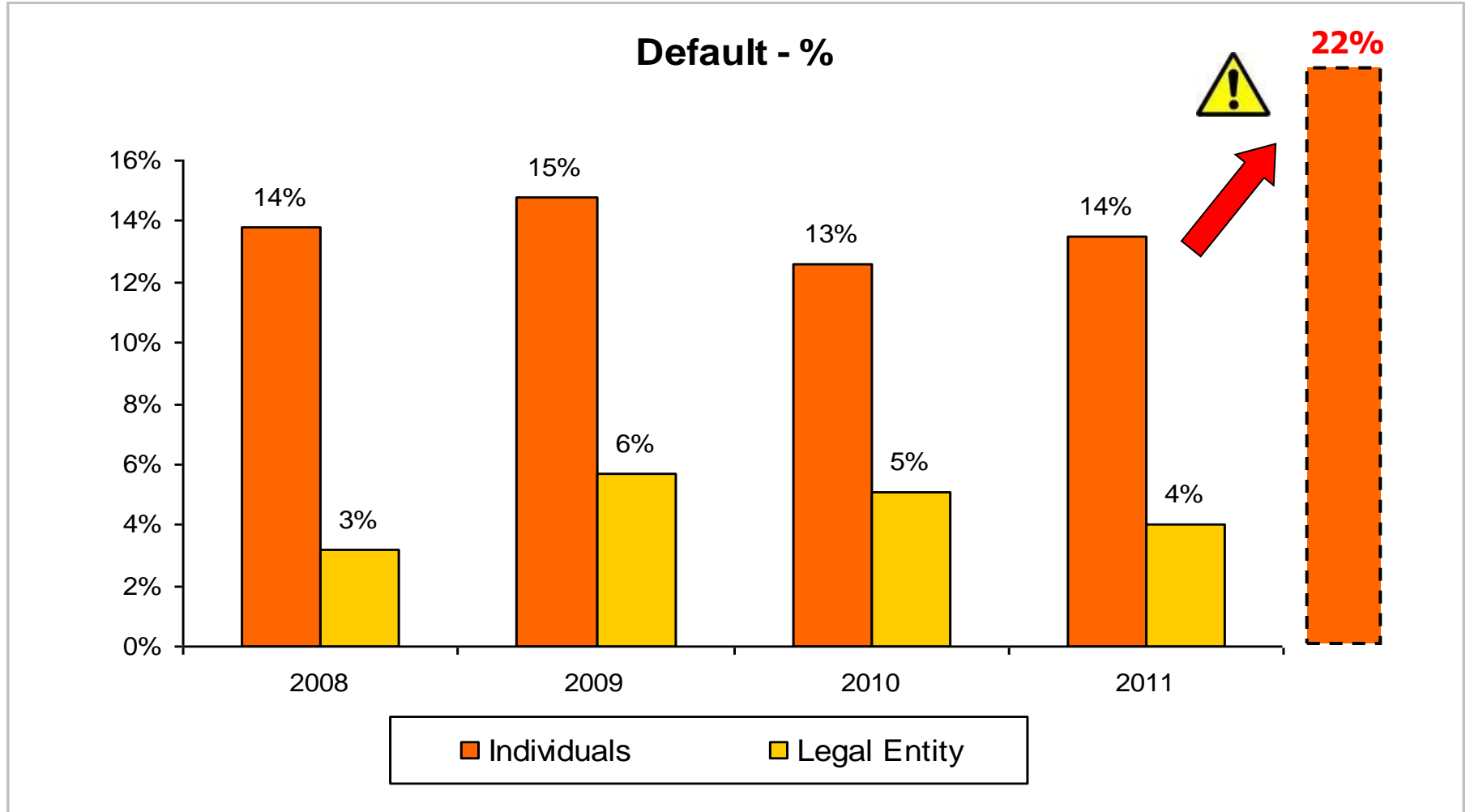


ブラジルにおける上半期の家電製造状況

(Jan~Jun 2011: 台数ベース)

生産台数	2010	2011	対前年比
Home Audio System	479.279	483.212	1%
Micro System	40.921	56.816	39%
★ Home Theater System	297.347	411.425	38%
Home Audio Total	817.547	951.453	16%
Car Audio	627.620	859.271	37%
CRT-TV	1.277.671	458.731	-64%
★ Flat Panel TV	3.225.295	3.953.233	23%
TV Total	4.502.966	4.411.964	-2%
★ DVD	1.281.948	1.584.477	24%
Blu-Ray	101.210	176.710	75%
Home Video Total	1.383.158	1.761.187	27%
Video Camera	31.969	45.779	43%
★ Digital Still Camera	669.750	935.691	40%
Camera Total	701.719	981.470	40%
Microwave Oven	2.000	1.930	-4%
★ Washing Machine	2.857	3.572	25%
Refrigerator	2.579	2.773	8%
White Goods Total	7.436	8.275	11%

消費者与信の支払不履行率



Source: IBGE/ Tendências

部会参加企業の2011年下期の展望

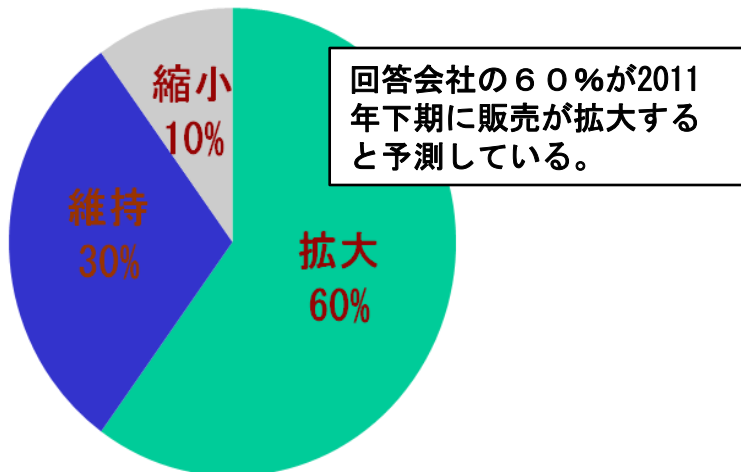
【市況・外部の懸念材料】

- リアル高・ドル安による輸入品/輸入材の低価格流入。
- 中国メーカーの進出の加速。
- 加熱するインフレ経済下での消費拡大・高金利政策・消費者のデフォルトの拡大。

【2011年下期販売予測】

- 震災の影響は下期に減少する見込み。
- 新製品の投入や販売体制の立て直しを実施し、販売増を予想。
- 積極的な拡販策を実施し、市場の再活性化にて下期挽回を見込む。
- サッカーW杯とオリンピックに向けて地デジ関連を含む、インフラ投資が計画通りに実施されることを期待。

2011年下期販売予測



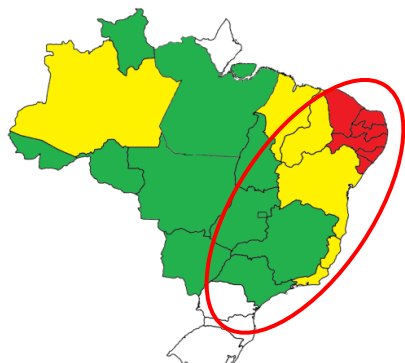
2011年下期の経営課題

- ・ コストダウン
- ・ 人材確保と育成
- ・ 営業力の強化
- ・ 市場ニーズにマッチした商品作り
- ・ 取扱製品の開発強化
- ・ IT・設備投資
- ・ 新規販路開拓

家電小売業の合従連衡 (2010~2011)

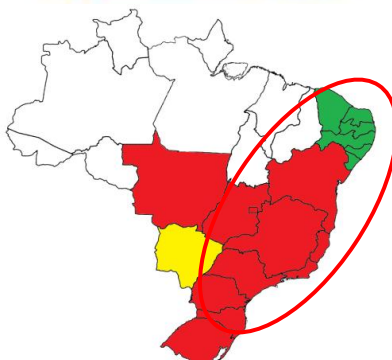
Máquina de Vendas

R\$7.2Bil / 890店舗
~12%



Grupo Pao de Acucar

R\$18.5Bil / 1300店舗
~45%



Grupo Magazine Luiza

R\$6.1Bil / 750店舗
~10%



小売業界の寡占がもたらす影響

- 過度の価格競争
- マージン要求の激化
- 激安自社ブランド製品の導入
- 収益性を補完できるサービス事業の開発

業界の対抗策

- ← 取引先法人の分散化
+ 直営店、E-Commerceの強化
- ← 量から質への取引条件の見直し
- ← 新たな収益源となる事業の開発

家電製造事業環境の変化と展望

ZFM(マナウス):

- ◎ **辺境開発**・北西部の対麻薬カルテル**国境警備**。天然ゴム産業等を代替する**雇用創出**
- ◎ 1967年の軍事政権下で創設（工業団地としての**国際競争力確保は重視せず**）
- ◎ **環境保護**、**原住民の生活権**も重視
- ◎ 家電・空調機・バイク・化学産業等に税特恵を供与



- ▶ **経済合理性の欠如**
- ▶ **IT製品との境界が曖昧化**
- ▶ **大規模投資案件の現出**

変化点①

- 急性長期にZFMのインフラが成長を阻害：市場アクセス、陸路の治安悪化、賃金・物流費高騰
- ZFM特恵に対する他州の不満：法律上は2023年まで特権を担保

変化点②

- SP州への大規模投資案件：Foxconn構想
- 投資規模：1兆円投資。10万人の雇用と140万人が暮らすIntelligent Cityの創出
- ▲ **北米や南米各市場への輸出産業化(?)**

変化点③

- 家電製品の進化とIT化（例：インターネットTVはパソコンかTVか？ PCモニター+D放送受信チューナー = 液晶TV、カーステ機能<DVD<GPS機能、i-Pod関連商品は通信機器のアクセサリ？）

政府の対応 → MP534号法案による特別優遇税制

(PPB 31%、Pis/Cofins 5%減税、SP州のICMS18%から7%)





ご清聴有難うございました